

厚生労働省和歌山労働局発表  
平成29年12月6日

担 当	厚生労働省和歌山労働局 労働基準部健康安全課 健康安全課長 井上 剛宏 安全専門官 豊倉 慎一 電 話 073-488-1151
--------	--

## 「年末年始、無災害運動 和歌山」

～「異常なし！ダブルチェックで念入りに 年末年始もゼロ災害」～

(中央労働災害防止協会 平成29年度スローガン)

業務が繁忙となり、労働災害が増加する傾向にある年末年始に

「年末年始、無災害運動 和歌山」を展開します。

- 年末年始は、慌ただしい中で大掃除や機械設備の保守点検・始動等の作業が多くなるほか、積雪や凍結による転倒災害等の危険が増します。また、日ごろ行っている確認作業が不十分になったり、怠ったりすることでミスや事故が生じる可能性が高まります。

各事業場、職場においては、作業開始前点検の実施、作業手順や交通ルールの遵守、非定常作業における安全確認の徹底、保護具等の点検の実施、転倒等への注意、労働者の健康状態の確認などに努めることが普段にもまして重要となります。

- 県内の労働災害発生状況 (平成29年11月24日現在 死亡・休業4日以上の災害)

平成29年11月24日現在の全産業の労働災害は841件発生しており、前年同日と比べ49件(約6.2%)の増加となっております。また、死亡災害は6件発生し、前年同日と比べ2件の減少となっております。

主な災害として、通路等での転倒災害が172件、高所からの墜落転落災害が156件、動作の反動・無理な動作が105件発生しています。災害に起因するものとしては、仮設物、建築物、構築物が関係する災害、取扱い中の用具が関係する災害、フォークリフト等の動力運搬機が関係する災害の順で多く発生しています。

例年、年末年始は業務が繁忙となり、災害が増加する傾向にありますので、運動期間中である「平成29年12月15日から平成30年1月15日」までの間は、事業場においては、より一層の災害防止活動の推進をお願いします。

なお、和歌山労働局及び管下の労働基準監督署においては、期間中、建設業等災害多発業種に対して、集中的に監督指導等を実施します。

(1) 管轄署別・災害の増減

管轄署	災害件数	前年同月日と比べた増減数	増減率
和歌山署	347	-1	-0.3%
御坊署	115	-19	-14.2%
橋本署	144	+39	+37.1%
田辺署	156	+7	+4.7%
新宮署	79	+23	+41.0%
合計	841	+49	+6.2%

前年と比べ49件の増加となっております。  
増加率6.2%となっております。

(2) 死亡災害発生状況

死亡累計	管轄署	災害発生月	事業の種類	事故の型	起因物
1	御坊	2月	製造業	崩壊、倒壊	金属材料
2	田辺	3月	接客娯楽業	激突され	その他の環境
3	田辺	6月	建設業	墜落・転落	立木等
4	橋本	7月	建設業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境
5	田辺	7月	畜産業	墜落・転落	建築物・構築物
6	橋本	7月	建設業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境

- 防止対策
- 1 製造部材等への転倒防止
  - 2 慣れた作業にも注意喚起
  - 3 高所作業の墜落防止
  - 4 夏場の熱中症予防、水分塩分補給、休憩、体調管理

(3) 主要業種別・主要な起因物

業種	起因物 仮設物・建築物・構築物等 (通路、階段等)	用具 (ロープ、梯子、 手工具等)	動力運搬機 (フォークリフト、トラック等)	その他	合計
製造業	42	22	15	137	216
建設業	31	16	7	39	93
運輸交通業	14	6	40	32	92
農林業	3	16	4	63	86
商業	21	10	3	47	81
医療保健業	38	11	1	59	109
接客娯楽業	15	7	1	23	46
清掃と畜業	15	2	3	10	30
その他	23	7	3	55	88
合計	202	97	77	465	841

仮設物・建築物・構築物等で202件発生しています。

防止対策 作業場所では、あわてず、急がず、安全確認！

(4) 主要業種別・主要な災害の型別

業種	型別 転倒	墜落 ・転落	動作の反動 無理な動作	挟まれ・巻 き込まれ	その他	合計
製造業	43	23	13	50	87	216
建設業	13	38	4	6	32	93
運輸交通業	10	27	19	6	30	92
農林業	7	19	7	2	51	86
商業	24	11	8	7	31	81
医療保健業	34	9	37	5	24	109
接客娯楽業	8	6	5	6	21	46
清掃と畜業	13	8	1	3	5	30
その他	20	15	11	6	36	88
合計	172	156	105	91	317	841

転倒災害で172件発生しています。

- 防止対策
- 1 通路の整理整頓 通路の区画表示、照明の確認  
作業に適した履物を使用、点検・交換
  - 2 高所での墜落防止対策の徹底